

Title	震災ボランティアにおける学生の意識(第二回東日本大震災国際神学シンポジウム：分科会報告 K)
Author(s)	小川, 真
Citation	聖学院大学総合研究所紀要, No.56, 2013.10 : 181-190
URL	http://serve.seigakuin-univ.ac.jp/repos/modules/xoonips/detail.php?item_id=4934
Rights	



聖学院学術情報発信システム：SERVE

SEigakuin Repository and academic archiVE

【第二回東日本大震災国際神学シンポジウム】

分科会報告 K

震災ボランティアにおける学生の意識

小川 真

はじめに

今回の分科会は「青年と震災」というテーマの中でも特に「学生と震災ボランティア」にフォーカスした。K G K（キリスト者学生会）に関わる学生を対象に行った震災ボランティアアンケート（付表、一八四―一九〇頁）をもとに、学生の意識を探りたい。なお調査総数は二三九人（二〇一三全国集会が中心）、そのうちクリスチャンは二三四人であった。

アンケート結果を振り返って

①「あなたは震災ボランティアをしたことがありますか？」との問い（質問5）に対しては、二三九人の学生のうち

「はい」と答えた学生が九五人で、実に四〇%であった。「労働政策研究・研修機構」の調査では一・六%という数字となっており、クリスチャン学生の震災ボランティアへの取り組みの割合は非常に高いと言える。¹⁾なお地域別にみると、東北と関東に住む学生の参加が全体の七割を占めた。

震災ボランティアに参加した回数は、約半数の五五名が一回であった。震災後の活動に求められることとして、継続、関係の深まりということが挙げられているが、現状は少し違う結果となっている。

② 「あなたはどのような団体が募集する震災ボランティアに参加しましたか？」という問い(質問10)に対して、群を抜いて多かったのは「教会」の四二名であった。学生の人間関係の築き方から推察すると、日頃から関係のある教会の教職者やリーダーシップをとる方々の後押しによって、震災ボランティア活動への一歩を踏み出していったのではないかと考える。

③ 「あなたは、震災ボランティアとはどのようなものだと思いますか？」との問い(質問18)では、一〜三位の優先順位をつけて回答してもらった。結果、一位に挙げた学生が最も多かったのは「寄り添うこと」であった。学生たちは震災ボランティアとは一番に寄り添うことだと捉え、そのような姿勢で被災された方と関わろうとしてきたことがわかる。そして二位に最も多く挙げたのは「愛のわざ」であった(表)。

ただ興味深いことに三位に挙げた学生が最も多かったのは「伝道」であった。学生たちは震災ボランティアとはまず寄り添うことであり、そして愛のわざだと考えているが、伝道と無関係ではないと考えている。震災ボランティアにおいて伝道をどのように考えるのかということは、大切でありかつ難しいテーマだが、このテーマをどのように捉え、次世代へと継承していくかは大切なことであると感ずる。

1位	寄り添うこと	89人	愛のわざ	72人	人助け	25人
2位	愛のわざ	66人	寄り添うこと	51人	人助け	39人
3位	伝道	57人	人助け	46人	寄り添うこと	36人

終わりに

今回、学生が震災ボランティアに関わるにあたって教会の果たす役割は大きいということがわかった。そして教会の役割とは何かということ、聖書から、イエス様の歩みから、教会の歴史から、そして具体的な現状から捉えられると思う。それを学生と共に手を動かし、学生と一緒に考えることが求められているように感じる。

注

- (1) 「独立行政法人労働政策研究・研修機構」(二〇一一年一二月実施)：全国二二六四人への調査の発表によると、対象は学生だけではなく二〇～二九歳の青年だが、被災地で参加したのは一・六%、被災地以外で参加したのは五%であった。

【附表】

震災ボランティアに関する学生の意識調査

2013年3月

〈趣旨説明〉

● 調査内容：

このアンケートは2011年3月11日東日本大震災後の震災ボランティアに関するもので、ボランティア参加の有無、内容、意識についてうかがいます。

この調査結果はKGKで今後発行される3.11震災ブックレット作成のため使用され、また3月27日に行われる東日本大震災国際神学シンポジウムでも発表します。

回答は質問ごとに集計するため、全て匿名のものとして扱われます。

● このアンケートや調査結果についてのご質問・お問い合わせ：

101-0062 東京都千代田区神田駿河台2-1 OCCビル3F

キリスト者学生会 学生宣教局

調査対象：KGKに関わるキリスト者学生

調査場所：NC2013, KGK学生へのアンケート

目標人数：400人

調査時期：2013年2-3月

調査主体：KGK学生宣教局

〈質問〉

1. あなたはクリスチャンですか？

- ①はい ②いいえ

2. あなたは何歳ですか？

- ①18歳 ②19歳 ③20歳 ④21歳 ⑤22歳 ⑥23歳 ⑦24歳
⑧その他 (歳)

3. あなたが今住んでいるのはどこですか

() 県

4. あなたの出身地はどこですか？

() 県

5. あなたは震災ボランティアをしたことがありますか？

- ①はい ②いいえ

→①はいの人は6.へ ②いいえの人は16.へ

〈震災ボランティアに参加したことがあると答えた方に質問します〉

6. 2011年3月11日以前に震災ボランティアを行なったことがありますか？

- ①はい (いつの震災ですか？ :) ②いいえ

7. 東日本大震災のボランティアに参加した回数を教えてください

() 回 (覚えていない方は概数で結構です)

8. それはいつですか？ (複数回答可)

①2011年3月 (→最初期の緊急支援)

②2011年4～5月

③2011年6～9月 (→初期の支援)

④2011年10月～2012年2月

⑤2012年3～9月 (→復興支援)

⑥2012年10～2013年3月

9. あなたが東日本大震災ボランティアで行った県はどこですか？またその回数を教えてください。（複数回答可）

- ①岩手県 () 回
- ②宮城県 () 回
- ③福島県 () 回
- ④茨城県 () 回
- ⑤千葉県 () 回
- ⑥その他 () 県

10. あなたはどのような団体が募集する震災ボランティアに参加しましたか？（複数回答可）

- ①キリスト者学生会
- ②教会 ()
- ③教団 ()
- ④自治体ボランティアセンター
- ⑤NPO法人：名称 ()
- ⑥上記のような団体ではなく個人で
- ⑦その他 ()

11. あなたはどのようなボランティア受け入れ先で震災ボランティアをしましたか？（複数回答可）

- ①日本国際飢餓対策機構（JIFH）
- ②クラッシュジャパン
- ③サマリタンズ・パース
- ④311いわて教会ネットワーク
- ⑤東北HELP
- ⑥いわきCERSネット
- ⑦ふくしまHOPEプロジェクト

⑧自治体ボランティアセンター

⑨教会：名称（ ）

⑩個人的な働き

⑪その他（ ）

12. 震災ボランティアを行なった活動場所を教えてください。（複数回答可）

①避難所

②被災者の方の家屋

③教会

④仮設住宅

⑤その他（ ）

13. 震災ボランティアを行なった活動内容を教えてください。（複数回答可）

①泥出し

②片づけ

③物資の配布

④家屋の修理

⑤炊き出し

⑥話を聞く・傾聴

⑦子どもプログラム

⑧コンサート

⑨その他（ ）

14. あなたが震災ボランティアをしたきっかけはなんですか？

①友人のボランティアをしてきた話に励まされ、自分にも何かできると思ったから

②礼拝の説教や、聖書の言葉を読み、御言葉に応答したいと思ったから

③現地スタッフの報告を聞いて、必要がまだまだ現地にあることを聞いたから

④テレビを見ていて、現地の人の役に立てることが自分にあるかと思ったから

⑤教会でボランティアの募集をしていたから

⑥KGKでボランティアの募集をしていたから

⑦その他 ()

15. あなたが震災ボランティアをして自分に足りないと感じたことはなんですか？(複数回答可)

①自分には被災者の気持ちがわかっていない

②被災地に住んでいない自分がどのようなことができるのだろうか

③現地の状況を分かっていなかった

④ボランティアに対応するスキルが足りなかった

⑤ボランティアをするための知識が足りなかった

⑥心構えが足りなかった。

⑦その他 ()

→18.へお願いします。

〈震災ボランティアに参加したことが無いと答えた方に質問します〉

16. 震災ボランティアをしたことがないと答えた方に質問します。その理由はなんですか？

①被災地から遠いから

②機会がないから

③危険だと思うから

④お金がかかるから

⑤時間がかかるから

⑥行く必要を感じないから

⑦周囲に反対されたから

⑧その他 ()

17. あなたは震災ボランティアについて今どのようなことを感じていますか。(複数回

答可)

- ①機会があればボランティアをしたい
- ②行く必要を感じない
- ③行っていないので後ろめたさを感じる
- ④行けばよかったと思っている
- ⑤その他 ()

〈すべての方へ質問します〉

18. あなたは、震災ボランティアとはどのようなものだと思いますか？(1～3位の優先順位をつけて回答してください)

- () 伝道である
- () 社会的な取り組みである
- () 愛のわざである
- () 人助けである
- () 寄り添うことである
- () 自分の存在価値を確かめるものである
- () その他 ()

19. あなたは震災ボランティアにおける教会の役割をどのように考えますか？

()

20. あなたは今後どのようなボランティアが必要だと思いますか？自由にご記入ください。

()

アンケートは以上です。ご協力どうもありがとうございました。アンケート回収ボックスへご投函ください。

震災ボランティア活動をされたという方々へ。被災地への支援活動を通して助けられた方が多くおられたことと思います。これからもボランティアについて考え、ともに取り組みをできたら幸いです。震災ボランティア活動をされてこなかった方々は、今後機会があれば何らかの形で活動へチャレンジしていただければと思います。

どうもありがとうございました。

以上